

# 会員のコーナー

## 社会資本整備に関わる者が知っておくべき経済の真実



このステッカーは Facebook の友人の印刷デザイナーである平山まさ子氏が作成したものです。(ご本人の承諾を得て掲載しています。)

本稿では、国の借金は返したらアカンという話を「事実」だけをもとに説明します。つまり、多くの政治家、主流派経済学者たちは「完全に間違っている」し、マスコミが伝える間違った情報を信じている国民も同じく、ということを描べます。そう言われて不愉快に思われる方もいるはずですが、我慢して読んでみてください。本当のことがわかるはずですよ。

下のグラフは国の借金、正しくは政府の債務残高の推移ですが、2018年のそれは1970年のその152倍です。インフレ率は下降の一途。財政危機と言われ続けて早25年、いったい、いつになったら破綻するのでしょうか。ちなみに、日本政府の債務の名目値は1872年から2015年にかけて3740万倍(!)になっています。



日本の政府の長期債務残高とインフレ率  
情報ソース：財務省、統計局

るそうです。債務の増加は、経済成長し豊かになっていく中での貨幣供給量の増加なのです。

### 【経済の真実】

#### ●誰かの支出は誰かの所得

当然のことに、誰かが支出してくれないとほかの誰かの収入は生まれません。

#### ●政府の収支+民間の収支+海外の収支=0

大相撲ですべての力士が勝ち越すことはないように、すべての経済主体の収支(黒字・赤字)を合計すると必ず0(ゼロ)になります。

#### ●変動相場制の下で、通貨発行権のある国の、 自国通貨建の国債はデフォルトしない

我が国は極端なインフレにならない限りいくらでも国債の発行が可能です。事実として国債は借り換えられており、返済の必要もありません。前掲のグラフでも明らかです。

以上のことから、政府が債務を負担して支出すれば、貨幣の量が増えて国民に渡るといことがわかります。逆に言えば、政府の収支を黒字にする(借金を返す)こととは、必要もないのに国民から貨幣を取り上げることです。

その良い例が、政府が13兆円の国債を追加発行して10万円の特別定額給付金を支給したことです。するとどうなったか・・・あなたの預金残高が10万円増えたでしょ!? 国債発行とは、そういうことなのです。この危機の時期に取るべき施策がそこからわかるはずですよ。

(株式会社横打 横打 研)